

**あなたに最適の生ごみ削減法、  
きっとみつかります！**

生ごみ減量法を試して比較してみました！

	メリット	デメリット	コスト
くうた くん	<ul style="list-style-type: none"> <li>処理後の量が増えない</li> <li>ごみを放り込んで混ぜるだけで手間がかからない</li> <li>油も処理できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さく砕いてから放り込む必要がある</li> <li>あまりたくさん生ごみを一度に入れないので大家族には不向き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>購入額 1万円程度</li> <li>ほとんどの自治体で費用補助がある</li> <li>ランニングコストゼロ</li> </ul>
直埋め	<ul style="list-style-type: none"> <li>穴を掘って埋めるだけなので簡単</li> <li>大家族分も処理できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日穴を掘る必要がある</li> <li>庭や畑が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストゼロ</li> </ul>
コーラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に数回かき混ぜるだけなので手間がかからない</li> <li>秋の落ち葉などの処理に向いている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に土が必要</li> <li>できた堆肥の活用先が必要</li> <li>最初はコツがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンポスト 1つ分で</li> <li>1ヶ月1袋程度使用</li> <li>ランニングコスト 約600円/月</li> </ul>
アスカ マン	<ul style="list-style-type: none"> <li>プランターやケースでもできる</li> <li>花を直接植えられる</li> <li>ニオイ消しにも使える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に黒土が必要</li> <li>できた土の活用先が必要</li> <li>土ができるのに3ヶ月ほどかかる</li> <li>最初はコツがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4人家族で</li> <li>3ヶ月1袋程度使用</li> <li>ランニングコスト 約300円/月</li> </ul>

**生ごみ削減に関心のあるグループへの  
出張講座ができます**

(開催要項)

所属のまちの委員会に「出張講座を依頼したい」と申し出てください。連絡先がわからない場合には、下記ブロック事務局がご紹介します。「企画書」をお渡ししますので、開催日時と場所を第3希望まで書いて、まち委員経由でブロック事務局にお出し下さい。3R推進チームと日程調整をして、決定日時をご連絡します。申込みはできるだけ開催2ヶ月前にお願いします。開催経費は下記のとおりです。主催者をご負担下さい。

- ・アスカマンの実演をしますので、トロ箱かプランター・花3株・敷物・スコップ・土・アスカマンをご用意いただきます。アスカマンは無いようでしたらご相談下さい。
- ・会場までの、3R推進チームメンバー交通費



**3R推進チームメンバー募集中！**

年度途中からの参加も大歓迎！  
あなたも身近なごみの達人目指して  
一緒に活動しませんか？  
(原則月1回の活動です)  
お問い合わせは下の連絡先まで！

リーフに掲載されている生ごみ削減法に関するお問い合わせ  
多摩南生活クラブ生協 3R推進チームまでどうぞ

電話 042(798)4371  
FAX 042(798)4376  
Email: block.tamaminami@s-club.coop

～ 毎日のちょっとした習慣で  
生ごみは もっと減らせる ～



暮らしの中で、どうしても出てしまう生ごみ。

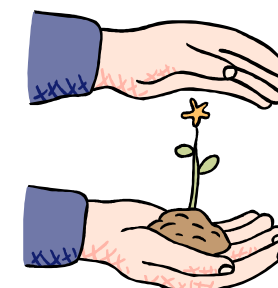
燃やせるごみの中で生ごみが占める割合は、  
半分以上とされています。

この生ごみを削減することで、  
ごみ処理に使われる税金の削減だけでなく、  
最終処分場に埋め立てられる残さや  
燃やすことによる二酸化炭素の排出も  
抑えることができます。

さらに、生ごみを有効活用することで、  
植物の栽培や消臭にも  
役立てられるのをご存知でしょうか？

生ごみの削減は、  
各ご家庭のライフスタイルによって、  
向いている方法はさまざま。

ぜひこのリーフを入門編として、  
あなたも今日から気軽に  
始めてみてください。



## 消滅型生ごみ処理器「くうたくん」の使い方

バケツにアースラブを半分入れます。バケツの置き場所はどこでもいいですが、屋外の場合は雨のあたらない場所にしましょう。アースラブに、コメのとき汁やお風呂の残り湯などを少しずつ加えて湿らせ、しっとりしてきたら握ってみて形が崩れる程度（水分60%程度）にします。

生ごみを混ぜますが、できるだけ細かく刻んでおいたほうが早く処理できます。小型のスコップなどを使ってよくかき混ぜてください。底のほうまでしっかりと。

一日の量は300g（三角コーナー1杯分）が目安です。入れすぎないようにしましょう。投入後2,3日で分解します。



上手な使い方：暖かい場所のほうが早く分解します。

酵素が温かくなっているときは分解も進みやすいのでそのままにしておきましょう。

生ごみの水切りを充分にしないと酵素がべたっとしてしまいます。上記工程の の状態が保てるように、水分に注意しましょう。

乾燥しすぎたときは水分を加えましょう。

困ったとき：においがする 生ごみを入れすぎたり、混ぜ方が不十分だったり、水分が多すぎる場合が考えられます。

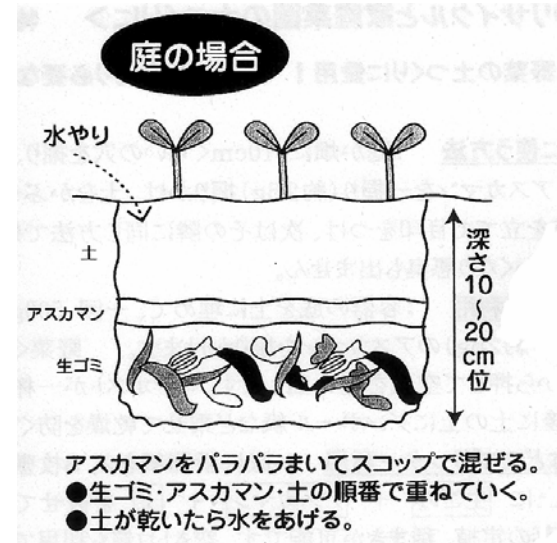
虫がわく 水分が多い場合や、開けっ放しで虫が入りこんだ場合が考えられます。いずれにしてもよく混ぜて一度乾燥させると元に戻るのであきらめないで!

分解が遅い 気温が低い、水分が少ない、生ごみの入れすぎなどが考えられます。

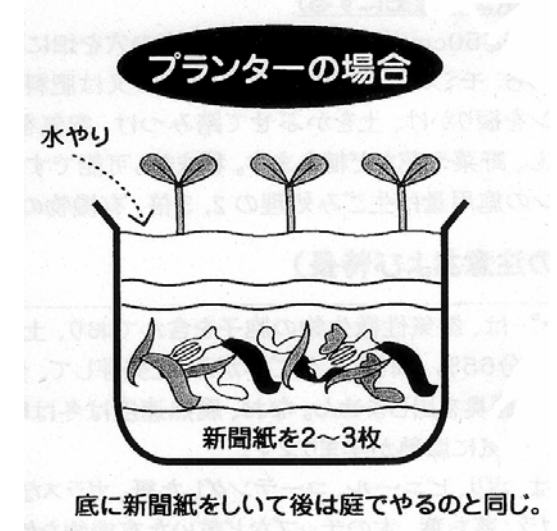


## 生ごみ堆肥化促進剤「アスカマン」の使い方

庭でもプランターでも各家庭に応じて使えるのがアスカマンの特徴です。土の中で生ごみから堆肥ができます。生ごみ500gから1kgに対して一握り（約25g）のアスカマンを振り掛けます。



嫌気性なのでよく踏んで空気が入らないようにしましょう。



やはり上からよく押します。プランターがいっぱいになるまで繰り返せます。土をタツブリかぶせると、そのまま花や野菜の定植・種まきが可能です。

土壌の改良や、ニオイ消しにも使えます。アスカマンを使って植えた花はいつまでも元気に咲くと評判です。

イラストは「くうたくんパンフレット」および「アスカマンパンフレット」から引用させていただきました。

## 「コーラン」の使用例



秋にたくさん落ちる葉っぱを袋に入れて保管しておき、コンポストの中で、生ごみ・コーランの粉末と合わせて堆肥にします。「落ち葉・生ごみ・コーラン・落ち葉」とサンドイッチ状に入れておくだけ。次に入れるときにはスコップで下からよくかき混ぜ、また同じ工程を繰り返します。下記の「直埋め」と併用しても使えますよ。

## 「直埋め」の仕方

自宅の庭や畑に穴を掘って埋めるだけなので、大家族分も簡単に処理できます。

ただ、地域によっては動物に掘り返される心配があるので、なるべく穴を深く掘るなどの工夫が必要です。